

仙人通信 177 飯盛山(1643m)

飯盛山は、野辺山駅の南3kmほど、先に登った横根山との中間に位置し、ご飯を盛り付けた様な山頂を持つ山で、山頂からは360度の眺望が楽しめる事で有名な山である。

獅子岩のある平沢峠から、平沢山を越えて山頂まで60分程で登れる事から、このコースをピストンする事にした。

平沢峠の東側に、頭を南にした大きな形の岩があり、一目で獅子岩と判る。

登山口の周囲には、沢山のマツムシソウ・モリアザミが、そして黄色いニガナやヨイマチグサ・オトキリソウが最盛期である。良く踏み込まれた登山道の両側には、ヤマアジサイ・ウツギ・ヤマハギが、又白い三角形の花を付けたリョウブ等が見事だ。15分ほど登ると右手に宮司の滝(2.3k)を示す道標である。柵の下側に僅かな踏み跡が見られる事から、この柵伝いに進み、先程の平沢峠から平沢牧場へと繋がる林道の沢沿にこの滝はあるようだ。

コースは唐松林となり、左下に多くのビニールハウスが見えるも右手は先程の柵と木々で眺望はない。25分ほど進むと柵の内側となり、平沢山の山頂のようだ。

ここからは、清里や八ヶ岳方面が開けた下りのコースとなる。

眼下に美しい森・清里スキー場・真教寺尾根・県界尾根等が望めるも八ヶ岳の山頂は雲の中である。登山道の周囲には、赤い花を付けたシモツケソウやコオニユリ・白いノギク・モリアザミ・チダケサシやヤマアジサイも見事である。やがて階段の付いた飯盛山の山頂や展望台が望める。20分程進むと展望台と山頂や平沢牧場を示す分岐点である。一面に咲くマツムシソウ・ナデシコ・アサマフーロ・ソバナ・コウリンカ等の夏の花達だ。獅子岩から丁度1時間で小さな山頂に立つことが出来た。山頂は360°の眺望だ。山の南西面は、平沢牧場の草原であり、先程の平沢峠へと繋がる林道も確認できた。その先には入笠山・釜無山・甲斐駒が岳・鳳凰三山が霞んではいるが、確認できた。八ヶ岳は山頂が白い雲に覆われてはいるものの、編笠・三ツ頭からの緩やかな尾根や、真教寺尾根・県界尾根・杣添尾根が野辺山に向かい延びているのが確認できた。浅間山は望めないも、茂来山・御座山・三国山・国師岳・金峰山と東面の山々だ。更に南には横根山や茅ヶ岳と思い出の多い山達だ。展望台等の草原を廻り、草花や眺望を十分満喫した3時間半(13500歩)の夏山の旅でした。

(h30.8. 3)

獅子岩



山頂



展望台から飯盛山



マツムシソウ

